

協定校留学【終了】報告書

留学先大学	梨花女子大学	氏名	
国名	韓国	学籍番号	
留学期間	2018年 2月 ~ 2018年 12月	記入年月日	2019年 1月 23日

1 履修した科目についてお書きください			
主な専攻分野: 国際教育			
科目名	韓国語3	科目名	日本語コミュニケーション
授業内容	韓国語中級レベルのクラス(文法・購読・会話・作文)	授業内容	日本語学の理解
授業形式	韓国語のみ	授業形式	韓国語と日本語
単位数	6	単位数	3
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.	普通	難易度 Course No.	簡単
宿題の量	ほぼ毎日+小テストあり	宿題の量	レポート
コメント	留学生のための韓国語のクラスです。韓国語能力検定3級程度の学生が対象でした。先生は、梨花女子大学語学教育館の専任の方で、とても教え方が上手でした。授業は、主に二冊の教科書を使って進められ、ワークブックも使いながら効率的に学習をさせてもらえたと思います。一日2コマ、週に4日ある授業なので、大変ですが韓国語は確実に伸びます。	コメント	主に日本語を学習している韓国人の学生が多いクラスでした。先生は日本人の方です。このクラスでは、日本語の文法や購読よりも発話を意識した授業が行われました。日本人は、韓国人の学生とペアになり教えながら一緒に課題に取り組みました。また、レポートは韓国人と日本人別で用意されました。
科目名	中国の歴史と文化	科目名	学問的韓国語1
授業内容	古代から現代までの中国史(中国文明・秦漢帝国・シルクロード・魏晋南北朝時代・宋・チンギスカン・鄭和・アヘン戦争・戊戌の変法・五四運動・孫文・毛沢東・台湾・改革開放政策・現中国の市場経済)	授業内容	高級レベルの韓国語のクラス(発表、文法、作文)
授業形式	韓国語のみ	授業形式	韓国語のみ
単位数	3	単位数	6
サイズ		サイズ	
難易度 Course No.	難しい	難易度 Course No.	普通
宿題の量	レポート	宿題の量	ほぼ毎日+小テストあり
コメント	韓国語で中国史を勉強するということが、中国の人名や地名を覚えるのが大変でした(例えば、孫文などは、韓国語では「スンウォン」になります)。試験やレポートも、全て韓国人の学生と一緒にやったため、予習や復習にもかなりの時間を費やしましたが、おかげで韓国語力が伸びたと感じました。また、先生が日本で中国史を学ばれた方で、日本の学生にも優しく接してくださいました。	コメント	留学生のための韓国語のクラスです。韓国語能力検定5級以上が対象のクラスです。「韓国語3」が文法や購読中心だったのに比べて、こちらは発表やグループワークなどが多かったです。特に、韓国の大学の授業で使われる難しい表現や発表の仕方、レポートの書き方なども学ぶことが出来て良かったと思います。

科目名	北朝鮮住民の文化と生活	科目名	東アジアの歴史紛争と韓国史
授業内容	韓国社会での北朝鮮認識・政治文化・北朝鮮の統治構造・階層構造・社会統制・言論・通信・芸術文化(音楽・文学)・女性・教育	授業内容	東アジア近現代の展開と民族主義・日帝強占期の植民主義史学・植民地近代化論と収奪論・東北工程・任那日本府説問題・竹島問題・日韓協定・強制労働と請求権問題・日本軍慰安婦問題・靖国神社問題・歴史教科書歪曲問題
授業形式	韓国語のみ	授業形式	韓国語のみ
単位数	3	単位数	3
サイズ		サイズ	
難易度 Curse No.	難しい	難易度 Curse No.	難しい
宿題の量	レポート	宿題の量	レポート
コメント	韓国の大学でしか学べない授業だと思いました。まず、日本よりも北朝鮮に関する資料や研究が豊富な上に、実際に北朝鮮に行かれた方や脱北者の話を聴くことも出来ました。また、授業中には北朝鮮の映画を見ましたが、思ったよりも政治要素が少なく、感動的なストーリーで驚きました。日本のメディアが取り上げる「過激な」北朝鮮とはまた違った姿を、客観的に学ぶことが出来たと思います。	コメント	韓国を中心に置き、中国と日本と関連する歴史的争点などを取り扱った授業でした(代表的だったのは、竹島問題や慰安婦問題など)。韓国の立場の主張をよく学ぶことが出来たと思います。東アジアが共同で作った教科書を7ページほど韓国語で要約するなどの課題もありました。
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Curse No.		難易度 Curse No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	
科目名		科目名	
授業内容		授業内容	
授業形式		授業形式	
単位数		単位数	
サイズ		サイズ	
難易度 Curse No.		難易度 Curse No.	
宿題の量		宿題の量	
コメント		コメント	

2	<p>授業において困ったこと、その解決法について教えてください</p> <p>最初は、教授の早口な韓国語を聞き取ることが出来ず、授業だけでなく試験情報などを聞き漏らさないか不安でした。しかし、試験内容やレポートなどの重要な内容は、全てオンライン上にアップされるので、それを細かくチェックし、課題や試験範囲などに漏れがないかを確認していました。</p>
3	<p>授業以外の活動についてお書きください</p> <p>大学内で、留学生のチューター制度(ピースバディー)があります。これは、入学時に加入するかどうかを選択できます。私は、このピースバディーに参加して、本当にたくさんの友人ができました。ピースバディー内の活動は英語でしたが、私のチューターの韓国人は、私が韓国語を使いたいことを分かってくれていたため、私と二人の時はいつも韓国語を使ってくれました。この子は、最終的に留学中で一番親しい友人になり、毎週一緒にお昼を食べ、試験期間中に勉強もし、二人でたくさん旅行したりもしました。このピースバディーの活動には、ぜひ参加することをお勧めします。</p>
4	<p>寮(またはアパート、フラット)の生活について教えてください</p> <p>寮(またはアパート、フラット)名とその場所</p> <p>寮の名前は、I-house(国際寄宿舍)です。建物は、A-Cまであり、寮費が違います。AとBは設備が全く同じで、二人部屋の場合一学期11万円ほどですが、Cは一学期17万円ほどです。Cの方が新しいと聞きましたが、設備にほぼ違いはありません。どの寮に入るかは、入学手続き後に知らされます。ちなみに、私はBでした。</p> <p>設備についての簡単な説明</p> <p>一人部屋か二人部屋かを最初に選べます。バスルーム付きで、綺麗です。部屋は8畳ほどですが、収納できるスペースも多く、荷物が多くても綺麗に部屋を使うことができました。冷暖房は、集中管理されていますが、十分に暮らしやすいです。また、床暖房もある為、冬は暖かく過ごせました。</p> <p>部屋について</p> <p>2 人部屋 広さ 8 畳くらい</p> <p>ルームメイトについて</p> <p>ルームメイトは、前期はスイス人、後期は中国人でした。どちらも、ほぼ韓国語が出来ない子だった為、全て英語でのコミュニケーションとなりました。留学生は、韓国語が出来ない子が多いので、英語は必要です(日本人留学生の中には、英語でのコミュニケーションの難しさから、日本人同士の部屋に交換してもらっている子もいました)。</p> <p>寝具や生活用品の入手方法</p> <p>枕、ベッドシーツ、毛布は寮で支給されます。毛布だけ、200円ほどかかりました。毛布は薄めだったので、冬になると肌寒く、個人で布団を買っている子もいました。生活用品に関しては、最寄駅(イデ駅)にダイソーなどがある為、ほぼ全てそこで揃えることが出来ます。しかし、到着したばかりの頃は、一人で買い物にも行くのも少し億劫な上、全ての日用品を一から揃えるのは大変だったので、小さなシャンプー、タオル、歯磨きなどは持っていくのを勧めます。</p> <p>生活の感想</p> <p>基本的には、とても生活しやすいです。地下には、ジムや勉強室、ラウンジなども併設されていて、充実していました。立地も、正門からすぐの場所にあり、大学内のどの建物に行くのにも比較的近かったです。また、私は寮に住んでいましたが、新たな友人を作るきっかけになったので、寮に住むのを勧めます。</p>
5	<p>食事についてコメントを書いてください</p> <p>まず、寮には食堂がなく、火を使えるキッチンも限られている為、食事には苦労しました。ほぼ、外食や大学内の食堂を使うことになるかと思います。私は、節約をするために、一週間に何度かはインスタントラーメンやパンなどで簡単に食事を済ませたりもしました。そのため、外食時にはなるべく野菜をたくさん摂取したり、間食に果物を食べるようにしたりと、健康管理には気をつけていました。</p>

6	医療保険についてお書きください				
	渡航前に加入した保険				
	リスク細分型特定手続用海外旅行保険(たびほ)				
	留学先大学にあった医療保険制度				
	大学内の病院の診療がいつでも受けられる保険(2000円程)				
	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)				
	なし				
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)				
	(現地通貨)				
	渡航旅費	250000ウオン	25,000 円		
	帰国旅費	200000ウオン	20,000 円		
	引越し(往復で)	100000ウオン	10,000 円		
	保険	1200000ウオン	120,000 円		
	語学研修費	1350000ウオン	135,000 円		
	留学先学費	0	0 円		
	本学学費	2000000ウオン	200,000 円		
	教材費	120000ウオン	12,000 円		
	住居費	3000000ウオン	300,000 円		
	食費	3000000ウオン	300,000 円		
	その他(交際費)	1000000ウオン	100,000 円		
	(交通費)	500000ウオン	50,000 円		
	()		円		
	合計		1,272,000 円		
	換算率 (10ウオン	=	1	円)
	受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください				
	JASSOの給付型奨学金(月7万円)				
8	留学前の準備について教えてください				
	日本から持参すべきもの				
	<p>Visaクレジットカード、SIMフリーにした携帯電話、マスク(韓国では大気汚染が深刻になっていて、警報が出るほどです)、常備薬、日本のお菓子(友達を作るきっかけになります)、簡単な生活用品(留学先ですぐに生活を始められるため)、海外用コンセントプラグ、ハンガー、インスタント味噌汁、留学関係の書類(入学許可証、寄宿舍関連書類、奨学金書類、単位交換に関するものなど)、帰国時の交通費 等</p>				
	留学前にしておけばよかったこと				
	英語の勉強(オリエンテーションなどは全て英語で進行されます)				

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>学習面では、韓国語能力検定6級(TOPIK6級)を取得、韓国の大学の授業でも不自由なく韓国語を聞ける・使えるようになりました。これは、私自身の大きな自信にもなりました。精神面では、外国で一人で暮らすという経験から自立心と責任感が大きく養われたと思います。また、留学中は節約しながらも国内旅行やアクティビティにも多く参加しようと心がけていましたので、お金の管理の仕方も上手になったと思います。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>私は、現在就職活動を行っていますが、韓国語を活かせる職業も視野に入れて就職活動を行っています。仕事を通して日本と韓国どちらにも貢献できる仕事をしたいです。また、ボランティアなど些細なことでもいいので、日本と韓国の架け橋になるような存在になりたいです。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>留学とは、一生に一度の特別な経験です。また、誰もが経験できることでもありません。ですので、留学中は後悔のないようにやりたいとを全てやりきれたらいいですね！また、留学中はお金の心配などもあると思いますが、私はJASSOの給付型奨学金を受けることが出来ました。現在は、トビタテの奨学金なども充実していますので、奨学金制度も活用しながら留学をしてみてください。ただし、奨学金は早めの手続きが必要ですので、入念に準備してくださいね。皆さんの留学を応援しています！</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>私は、韓国語が上手になりたいという気持ちが強く、勉強を第一に考えた留學生活でした。なるべく、日本人の友人を作らないようにし、韓国人の友人の輪を広げようと努力しました。今思えば、そのような心がけのおかげで韓国語が一気に伸びたのだと思います。留学中は、日本人も多かったですが、周りに流されずに自分の目標をしっかりと持つことが大事なのだと感じました。</p>

1、寮に併設されている無料のジム



2、寮の部屋(二人部屋)



3、ソウルレインボーパレードの様子(夏)



4、大学近くのカフェ



5、夜市場の様子(光州にて)



6、伝統的な街並み(慶州にて)

